



## 第 2 章

---

ユニバーサルデザインのまちづくりが  
めざす将来像と基本方針



## 1 ユニバーサルデザインのまちづくりがめざす将来像

ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するため、区の現状や課題をもとに、まちづくりのめざす将来像を以下のように設定しました。

### <ユニバーサルデザインのまちづくりがめざす将来像>

**ひとを育み まちを創る**  
**だれもが自分らしく暮らせるまち 足立**

高齢者や障がい者など多様な人々<sup>(※7)</sup>への配慮がされた施設づくりを進めるとともに、だれもが、立場が異なる人々への理解や共感を深め、いつでも「思いやりのこころ」を持ち、「こころづかい」ができる区民があふれるまちをめざします。

そうすることで、だれもが住んでいるまちを大切に思い、生まれ育ったまちに自信と誇りを持ちながら、いきいきと暮らすことができる、そんな『だれもが自分らしく暮らせるまち』が実現します。

## 2 施策の体系

本計画で掲げた将来像を実現するため、「ひと」「暮らし」「まち」「しくみ」の4つの視点から、基本方針として「4つの柱」を整理しました。

この「4つの柱」を踏まえたうえで、区が実施する施策群に分類し、それぞれの施策群に対応した施策を体系づけました。

#### ※7 多様な人々

人には、障がいの有無、年齢、性別、出身の国や地域などの様々な種類の性質があり、その様々な種類の性質をもつ人々のこと。

ユニバーサルデザインの

ひとを育み  
だれもが自分らしく

4つの柱	1	思いやりある 『ひとづくり』	2	快適にすごせる 『くらしづくり』									
	互いを理解し こころづかいができるひとを育みます		多様なサービスを提供し 安心なくらしを実現します										
施策群	(1)	だれもが多様性を 理解し配慮する	(1)	だれもが安心して生活 できる環境を充実させる									
	(2)	幼少期から ユニバーサルデザインの 理念に触れる	(2)	だれもが暮らしやすい 住宅を確保する									
	(3)	だれもが互いに つながり支え合える	(3)	だれもが使いやすい 製品を普及させる									
施策	①	ユニバーサルデザインの普及啓発	①	多様な人々への移動支援									
	②	多様な人々に対する理解の醸成	②	多様な人々へのコミュニケーション支援									
	③	ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成	①	住宅の改良支援									
	①	児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進	②	住宅確保要配慮者への居住支援									
	②	児童・生徒への国際理解教育の推進	①	ユニバーサルデザイン製品の周知啓発									
	③	学習環境におけるユニバーサルデザインの推進	②	ユニバーサルデザイン製品の開発支援									
	①	多様な人々との連携・支援											
各事業の 掲載ページ	48	49	52	59	61	62	64	68	72	74	75	76	78

まちづくりがめざす将来像

まちを創る  
暮らせるまち 足立

3 便利に生活できる『まちづくり』							4 みんなに役立つ『しくみづくり』										
利用しやすい空間を整備し、安全なまちづくりを進めます							多様な情報発信のしくみをつくり、心豊かな共生社会を支えます										
(1) だれもが円滑に移動できる環境を整備する		(2) だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する		(3) だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する		(4) だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する		(1) 参加しやすい開かれた区政を運営する		(2) だれにでも伝わる情報を作成・発信する		(3) 災害から身を守る情報を提供する					
① 安全な道路環境の整備	② 歩行者空間の確保	③ 公共交通施設の整備・誘導・支援	① 公共建築物のユニバーサルデザインの推進	② 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進	③ 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進	④ 区営住宅のユニバーサルデザインの推進	① 区立公園等のユニバーサルデザインの推進	② 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進	③ イベント会場等のユニバーサルデザインの推進	① 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導	② 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導	① ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理	② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実	① ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用	② わかりやすい表現による印刷物の作成	③ だれもが利用しやすい電子情報の作成	① 効果的な防災・災害情報等の提供
79	83	85	87	90	91	92	93	94	95	97	99	102	103	108	110	111	113

### 3 基本方針「4つの柱」

「ひと」「暮らし」「まち」「しくみ」の4つの視点から、基本方針「4つの柱」を以下の通り決めました。この基本方針に基づき、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

#### 柱1 思いやりある『ひとづくり』

～互いを理解し、こころづかいができるひとを育みます～

より多くの人々が、ユニバーサルデザインについて気づき、知り、そして、互いの個性や立場を理解し合う。それが人々に「思いやりのこころ」を根付かせ、「こころづかい」ができる「ひと」を育みます。

これは、「ユニバーサルデザインのまちづくり」の要であり、だれもがいきいきとした生活を送り、互いを尊重するまちづくりを進めていくための基盤となります。「思いやりあるひと」が増えることで、地域の中で人々が助け合い、支え合う環境が醸成され、ユニバーサルデザインのまちの実現につながります。

さらに、身近な暮らしやまち、しくみにもユニバーサルデザインの考え方が応用されることで、ユニバーサルデザインの認知度を高め、人々の暮らしや身近な地域により良い効果を及ぼしていきます。

#### 取り組みの方向性

- ユニバーサルデザインの普及啓発
- ユニバーサルデザインを理解し、実践するための職員の育成
- ユニバーサルデザインに触れ、理解する子どもたちの育成
- 多様な人同士の交流と連携

## 柱2 快適にすごせる『くらしづくり』

～多様なサービスを提供し、安心なくらしを実現します～

障がいのある人もない人も、子どもや高齢者も、だれもが安心して自立した日常生活を送れるように、人々がまちを自由に移動できる手段の確保や円滑なコミュニケーション手段の提供など、様々な角度から支援します。

また、だれもが便利に使えるユニバーサルデザインを用いた製品が増えていくことも、充実した暮らしには必要です。ユニバーサルデザイン製品をより普及させるために、区や区民、事業者とが協働・協創して、利用者の意見を取り入れたユニバーサルデザインの製品の開発を支援していきます。

こうしたことにより、様々な人同士の交流が活発に行われ、地域やコミュニティでの支え合いやつながりが強まり、安心な「くらし」が実現されます。

### 取り組みの方向性

- だれもが安心して生活できる環境の整備
- 様々な人同士の情報交換や交流を促進させるための支援
- だれもが安心して暮らせる住まいの確保
- ユニバーサルデザイン製品の普及啓発や開発に向けた支援

### 柱3 便利に生活できる『まちづくり』

～利用しやすい空間を整備し、安全なまちづくりを進めます～

様々な人にとって役立つサービスや道具があっても、人々が実際に活動するためには、利用しやすく安全で快適な空間や施設が欠かせません。

そのためには、新設の道路や建物への対応だけでなく、現状を改善するバリアフリー化に加え、イベント会場における動線や配置の工夫や、わかりやすい案内サインの設置を行い、だれもが利用しやすい空間の整備を進めていきます。さらに、多くの人が利用する交通機関や公共施設をはじめ、民間施設などの施設管理者に対し、ユニバーサルデザインに対応した整備を誘導します。

これらを進めることで、だれもが負担なく活動できる安全な「まち」を築きます。

#### 取り組みの方向性

- だれもが円滑に移動できる施設整備やその適正な管理
- 公共施設などのユニバーサルデザインの整備
- 民間建築物に対するユニバーサルデザインの整備の誘導



#### 柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』

##### ～多様な情報発信のしくみをつくり、心豊かな共生社会を支えます～

人々が互いの立場を理解し、自由に社会参加できるよう、だれにもわかりやすいサービスや情報の提供が求められます。そのため、やさしく読みやすい広報紙や冊子、関心もてるようなポスターなどの作成に努めるとともに、高齢者や障がい者、外国出身の方々など、受け手に合わせた情報の伝達手段（音、言葉、文字や絵など）の多様化を進めていきます。

これまで情報を得られなかった人々も、多様な伝達手段を通じて情報を得ることにより、区の様々な事業に参加でき、そこで感じた意見や要望を、電話やメールなどの媒体や区民の声などの制度を利用して区に伝えます。そして、区は計画や事業に反映することが可能になります。

こうした区民に寄り添った「しくみ」を通して、区のそれぞれの事業が改善され、区がめざす将来像に近づいていきます。

#### 取り組みの方向性

- だれもが参加しやすいしくみの充実
- わかりやすい情報の作成・効果的な情報発信

